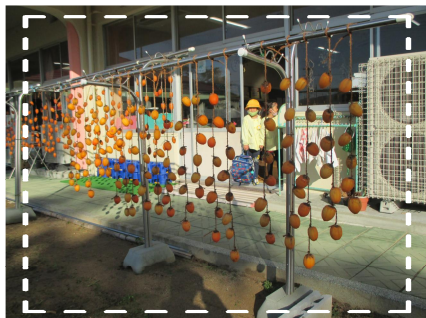




丹波篠山市立  
たまみず幼稚園  
城北畑小学校  
11月の2



7日(土)の立冬も過ぎ、いよいよ冬の始まりとなりました。朝夕寒さ厳しくなっていますが、地域の皆様、保護者の皆様、お変わりございませんでしょうか。さて、園庭には、つるし柿が471個、朝の寒さに耐え、昼はほんのりと暖かい陽射しに照らされながら、初冬の季節感を醸し出しています。今月の3週目ぐらいになると食べ頃になります。園児には、味ばかりではなく色や形の変化に気付かせるとともに手に持った感触にも注意を向けさせたいと思っています。たくさんの柿をいただき、本当にありがとうございます。



### 幼稚園児、丹波篠山市児童発達支援センターで遊びました!

(畑複合教育施設)



6日(金)スクールバスに乗って畑地区の同センターへお邪魔しました。山下 誠センター長のごあいさつを受けた後、様々な遊具で遊ばせていただきました。サイバーホイール(写真中央)、ボールプール(写真下)凹凸付きの平均台、ブランコ、トランポリン、ストライクサイン、イボイボ付きバランスボール、ソフト積み木等々で時間を忘れて遊んでしまい、気がつけば予定していた時間よりかなりオーバーしてしまいましたが、からだ全体を使いながら感覚運動遊びに夢中になりました。その後、畑地区を散策しましたが、トラクターで田おこしされている方、鍬で畑を耕されている方、黒枝豆の葉を落としている方々に、大きな声で「こんにちは!」とあいさつを交わすと、向こうからにっこり笑顔が返ってきました。同センターに帰ってきてからお弁当の時間。いつものことですが、ご家庭の愛情を感じるお弁当ばかりで、しばらくの間じっと見ていたとも思いました!充実した1日でした。どこか知らない遠くへ出かけるよりも地に足をつけ、地域を歩いて出会った人にあいさつを交わしたり周囲の風景を見ながら歩いたりするのもいいものです。

### 1年生算数



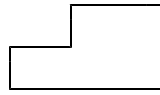
●●ばらからひくかずをとれないひきさんは、10からとればよい●●

前時に学習した内容をもとに、「 $12 - 7$ 」の計算を勉強しました。「10から7ひいて、3のこって、3と2で5だとおもいます。」「まず12こあって、10から7こって、この3と2をたす。こたえは5。」「2から7はとれない。10は7より大きいから10からとればよい。大きなへやからとればよい。」と、考え方は同じでも表現の仕方がそれぞれ違っています。できるだけ多く発言させてそれぞれの言い方を耳で聞いて計算方法を身につけていきます。この後、教室では、ブロックを使って計算の仕方を確かめました。「12を1

0と2に分ける」「10から7をひくと3になる」「3と2を合わせて5になる」と、みんなで声を合わせながら計算手順を確かめました。授業の最後には、「 $15-6$ 」などの練習問題にブロックなしで取り組みました。どの子も一所懸命です。名前を呼ばれたら大きな声で「はい!」と返事を返し、みんなに聞こえるような声で発表しています。いつ参観しても学習に向かう子どもたちの姿勢がいいです。

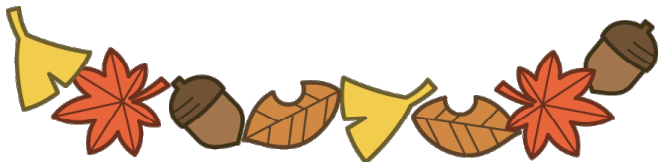
## 4年生算数

10月30日(金)4年生教室で算数科の授業研究会を実施しました。



(問題では、各辺の長さは記載されています)  
テーマ「L字型のような面積の求め方を考える」

この授業では、長方形の面積の求め方を学習したことを応用して、長方形に分けて考える方法、全体から欠けている部分を引いて求める方法、移動して求める方法等々、児童のアイデアをたくさん引き出して答えを導き出しました。多様な考え方があることに気づかせることを通して算数科の面白さを感じ取ることができました。子どもたちは、複合図形の問題を求めるときにあたって、自分の考えをことばや図、式等で表現し、それを説明し合ったりする対話活動も活発に行っていました。子ども同士の協働学習を通して、算数科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることに授業の重点を置いています。



6年生では、谷川 俊太郎の「生きる」という詩を学習しました。この詩に描かれている生き方を自分の生き方につなげて考え、朗読で表現しました。その後、子どもたちも詩に挑戦してみました。教室は静寂になり、思い思いの詩を書き上げようと一所懸命に取り組みました。

※男の子が書いた詩です。この詩を読んで「青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の持ち方をいうのだ」という、ある詩人がつくったのを思い出しました。日常が日常であることへの感謝はしなければいけませんが、そのような中でも「好奇心」はいつまでも持ち続けたいです。何かに追いつけられるのではなく、自ら追いつけるような人間でありたいと思います。

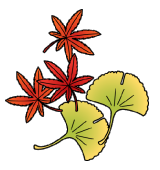
好奇心	六年	ひとがもっているものは	虫より	鳥は大きい	虫より	鳥は大きい
命の他にもたくさんある		その大きさは	鳥より	山は大きい	鳥より	山は大きい
他の何よりも	大きいと思う	地球より大きいものは	山より	地球は大きい	山より	地球は大きい
		地球より大きいものは	でも		でも	
		「好奇心」だと思っ				
		「好奇心」って				
		大人になるにつれ				
		失われていくのかもしれない				
		それでも				
		「好奇心」を失わずに				
		もっていたい				

※男の子が書いた詩です。この詩を読んで「青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の持ち方をいうのだ」という、ある詩人がつくったのを思い出しました。日常が日常であることへの感謝はしなければいけませんが、そのような中でも「好奇心」はいつまでも持ち続けたいです。何かに追いつけられるのではなく、自ら追いつけるような人間でありたいと思います。

# 発表会

21日(土)学習発表会を開催します。  
プログラム ●高学団 8:40 ~ ●低学団 10:00 ~ ●中学団 11:20 ~

- 【5・6年の部】6年生:(総合)子どもたちの戦争「学童疎開」 5年生:(総合)稲むらの火
- 【1・2年の部】1年生:(国語科劇)ひらがな かけるかな?
- 2年生:(国語科劇)ニャーゴ - スマイル マジック♪ -
- 【3・4年の部】3年生:(総合)3年生はじめて物語
- 4年生:(総合)For the Earth ~私たちにできること~



※練習期間中は、マスクを着用しました。本番のみマスクを取って発表いたします。また、コロナ禍のため、今年度は保護者のみの参観となります。ご理解ください。